

一般社団法人 千葉県作業療法士会

平成 30 年度 第 1 回臨時総会  
(平成 31 年度予算総会)

## 議案書

日 時：平成 31 年 3 月 21 日 (木・祝) 10 時～11 時

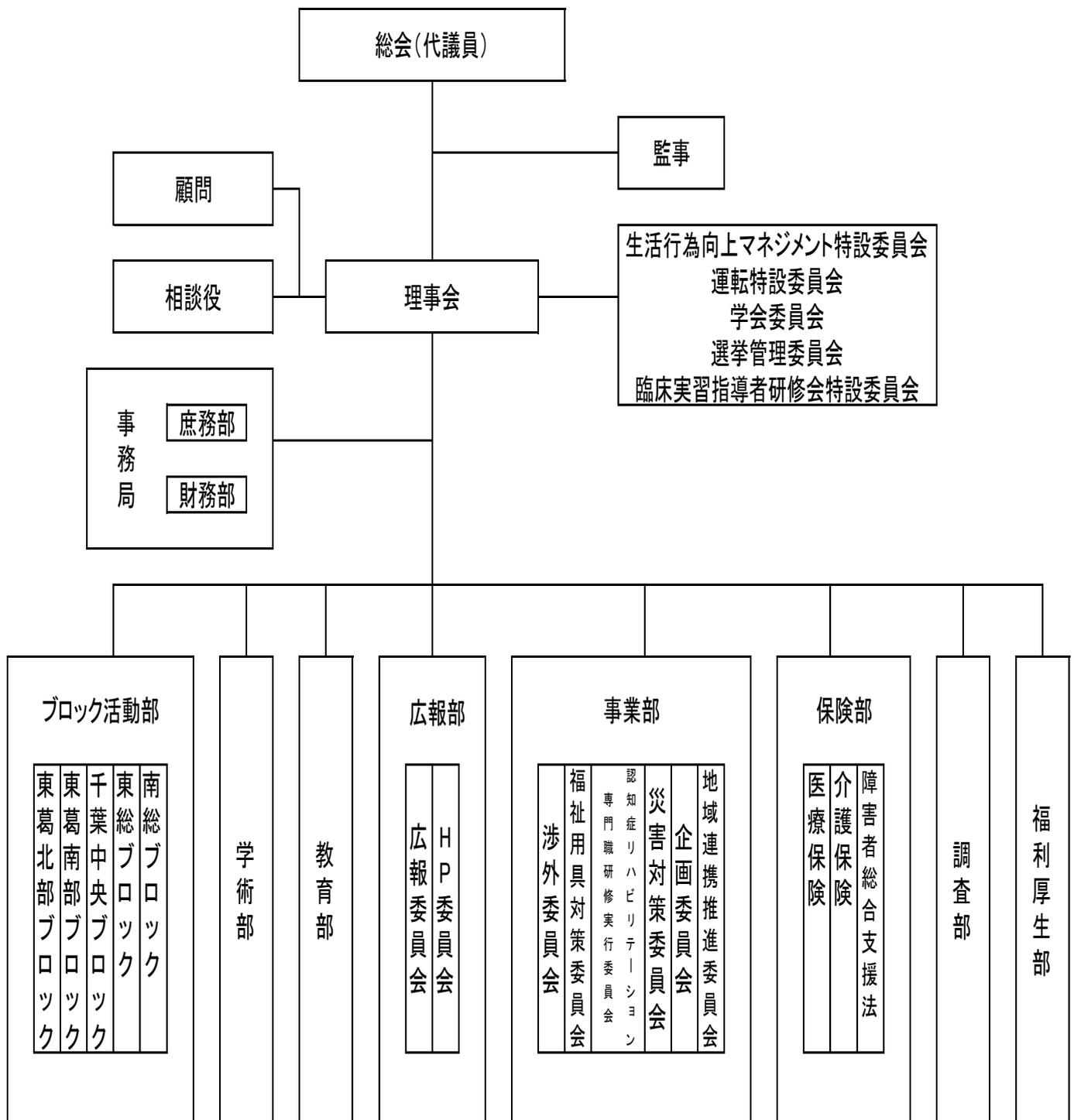
場 所：千葉県立保健医療大学

幕張キャンパス 図書館棟 中講義室

(〒261-0014 千葉市美浜区若葉 2-10-1)

【第1号議案 千葉県作業療法士会 組織図の変更】

新設：「臨床実習指導者研修会特設委員会」



## 【第2号議案 平成31年度 事業計画及び当初予算計画】

### 平成31年度 活動方針

一般社団法人千葉県作業療法士会 会長 坂田 祥子

いつも県士会活動にご協力をいただき、ありがとうございます。

平成30年度に役員改選があり、新役員体制の下で活動を継続して参りました。平成30年度定時総会において会費の見直しが承認され、平成31年度には年会費8000円となります。これまで数年間活動が増える中で会費を据え置いてきたために、数年間の間にゆとりの予算を使い果たすような形になってしまいました。そのような状況ではありますが、平成31年度は会費値上げの緩和措置として研修会補助費を設置致します。そして、これから2・3~数年をかけて年度末に少し次年度分の活動費を残せるような健全な財政状況に回復させてゆく必要があります。

臨床実習指導者養成研修が都道府県士会での実施が必須となりましたので、それを担当する部署を特設委員会として設置します。

千葉県作業療法士会の活動は、定款に掲げている「会員の学術技能の研鑽、人格及び資質ならびに社会的地位の向上に努めると共に、千葉県民の保健・医療・福祉の向上に貢献することを目的」とした活動を行います。

#### (1) 作業療法の普及及び啓発に関する活動

市町村で開催される健康フェア等への参加（ブロック活動）、パンフレットやホームページでの作業療法や県士会の広報を引き続き行います。作業療法の啓発活動の場が多くなっておりパッケージ化の検討を行います。市民公開講座を開催（企画委員会）します。

#### (2) 作業療法の学会・研修会・講習会等の開催

第21回千葉県作業療法士学会、現職者研修（教育部）の他、学術部やブロック主催の研修会、認知症専門職研修、災害リハ、地域リハ人材育成など、各委員会が企画する研修会を開催し、多様な学習の場を提供します。

#### (3) 作業療法士の業務遂行に関する情報の提供

県士会ニュース・ホームページ・マメールの活用により情報提供を行うとともに、保険部、福祉用具対策委員会やアドバイザー制度での相談窓口を設置します。

#### (4) 作業療法に関する調査及び研究

福祉用具・機器に関するニーズ調査等、会員のニーズ調査を行います。千葉県作業療法士会の会員統計資料を提示します。

#### (5) 県内作業療法士の交流及び連携の向上に関する活動

引き続きブロックでの研修会や交流会を実施し、ブロック活動の活性化を図ります。

#### (6) 関連団体および関係機関との交流および連携

千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議、千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会の構成団体としての活動を積極的に行います。県・市町村、他団体との協力・連携による活動を継続し、人材バンクの活用をします。

#### (7) 作業療法に関する刊行物の発行

県士会ニュースの発行、ホームページの掲載、千葉作業療法の刊行を行います。

#### (8) その他前条の目的を達成するために必要な事項

事務局移転に向けて準備を進めます。県士会組織の見直し、組織率向上、県士会活動に加わる会員を増やし県士会活動の活性化を図ります。

引き続き県士会活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

## **事務局 庶務部**

1. 会議の開催
  - (1) 定時総会  
年1回（6月頃）  
予算総会年1回（3月）
  - (2) 理事会  
年12回
  - (3) PT・OT・ST 役員連絡会  
年1回（千葉 POS 理事会を兼ねる）
2. 会員原簿、名簿の作成・管理
  - ・ 新入・転入会員の加入受付・手続き
  - ・ 異動、退会、休会の受付・手続き
  - ・ 日本作業療法士協会会員管理システムの活用
  - ・ 新規会員原簿の作成、データ入力
3. 内外公文書の作成・発送・收受・保管に関すること
  - ・ 施設使用願い、講師派遣依頼、講師依頼、委員派遣依頼 他
  - ・ 役員・各部局委員の委嘱状
4. 後援名義の使用許可
5. ニュース等の発送
  - ・ 封入作業委託先：千葉県身体障害者福祉事業団 更生園
  - ・ 発送回数：9回（ニュース6回、学会抄録1回、学術誌1回、会員シール1回）
6. 生涯教育ポイントシール管理
7. 部局委員会名簿の管理
8. 生涯教育他団体資格審査の受付
9. 法人登記事項変更手続き
10. 規定等の整備
11. 事務局移転準備
12. その他

## **事務局 財務部**

以下1～8について、雇用事務員へ指示の上、事業を遂行する。

1. 年会費未納・滞納の会員の究明化と催促状送付
2. 一般社団法人 千葉県作業療法士会の親口座の管理
3. 手続き済みの会員の口座より、年会費自動引き落としに関わる作業
4. 口座振替用紙の保管
5. 口座に直接年会費を入金した会員の情報管理
6. 税理士の指導を仰ぎ、会計管理に関わる各種書類の作成と保管と処分
7. 税理士の指導を仰ぎ、会計監査に関わる事務業務
8. 会費の見直しに伴う「研修費補助費」への対応

## **臨床実習指導者研修会特設委員会【新設】**

1. 研修会開催（年2回）
2. 会議（年4回）
3. 今後の体制作り

## 学術部

1. 本部：学術部全体会 年1回、学術部会計事務
2. 精神障害委員会：研修会年1回（7月7日、講師：宇田英幸埼玉県士会長）、会議年3回  
OT協会精神科ワーキンググループの取り組みである埼玉への研修に参加する予定
3. 老年期障害委員会：意見交換会年1回、会議年3回
4. 発達障害委員会：研修会年2回（8月1回、10月～12月1回）、会議年4回
5. 学術誌編集委員会：学術誌発行年1回（3月）、会議年3回

## 教育部

1. 教育部員数は24名とし、研修会ごとの担当制とする。
2. 教育部会について  
全体会議2回、および研修担当者ごとの部会を必要に応じて行う。
3. 研修会の運営について  
日本作業療法士協会生涯教育制度に従い、現職者共通研修を10講義実施する。また、現職者選択研修は、「身体障害領域」の1領域を実施する。
4. 事例研究Ⅲ（事例発表）の受講を促す。また、既履修者の受講を認め、事例を通じた研鑽の場とする。
5. 共通研修以外で行った事例研究③の事例報告履修申請の審査及び修了印手続きを行う。
6. 部員1名が、日本作業療法士協会生涯教育推進委員として会議へ出席、情報提供及び収集を行う。

## 広報部 広報委員会

1. ニュース関連
  - 1). ニュースの発行 年間6号
  - 2). ブロック便りの掲載
  - 3). 求人広告の掲載
  - 4). 各ブロックの広報委員との会議を通して、県士会やブロック活動が会員にわかりやすく関心を持ってもらえるような記事の掲載方法とニュースの掲載方法の検討
  - 5). ニュースのあり方の見直し（内容、発行回数など）
2. 推進活動
  - 1). 働く現場見学の企画・実施・対象者・事務作業の見直し
  - 2). 他の部署との連携を図り、県士会（ブロック活動を含む）の魅力をアピールしていく。  
（OT養成校などとの連携・中学・高校への広報等の模索）
  - 3). 県士会パンフレットの配布、内容の見直し、
  - 4). 県士会及び本協会パンフレット送付
  - 5). 県士会広報グッズについて

## 広報部 ホームページ委員会

1. ホームページコンテンツについて
  - 1) 研修会掲載
  - 2) 求人広告掲載
  - 3) 会員の方・一般の方への情報掲載
  - 4) 県士会掲載論文の更新

## 2. 新コンテンツについて

- 1) PDF（県士会ニュース等）の貼り付け
- 2) 理事会議事録の掲載
- 3) 県士会学会の過去の演題の掲載
- 4) 代議員・理事・部局・委員会情報の公開
- 5) 財産目録の公開
- 6) 作業療法士を目指す方への新規作成（ベテラン or 新人）

## 事業部 渉外委員会

1. 千葉県精神保健福祉協議会への団体加入、理事・実行委員等の派遣
2. 千葉県精神保健福祉協議会顕彰の推薦
3. 介護認定審査会委員・障害者介護給付費等審査会委員の推薦
4. 千葉県介護支援専門員協議会への理事・代議員派遣
5. 精神障害者地域移行推進専門部会への委員派遣
6. 千葉県地域リハビリテーション協議会員の派遣
7. 千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進作業部会への委員派遣
8. 千葉県介護保険関係団体協議会への団体加入、委員派遣
9. 千葉地域リハビリテーションセンター連絡協議会への委員派遣
10. 在宅医療・介護連携推進事業 市原圏域における代表者の派遣

※部員人数：3名

## 事業部 認知症専門職研修実行委員会

1. 認知症リハビリテーション研修会（基礎コース・応用コース）の開催

〈対象〉作業療法士・理学療法士・言語聴覚士の資格を有する者

（原則として、千葉県作業療法士会・千葉県理学療法士会・千葉県言語聴覚士会 会員とする）

〈目的〉① リハビリテーションを担う三職種に対し、認知症に対する実践研修を実施することで、認知症リハビリテーションの理解並びに技術の向上を図る。

② できる限り自分らしい生活を継続できるようにリハビリテーションの立場から適切な支援やサポートができる

③ 各地域において認知症のリハビリテーションリーダーとして対応できる基礎および応用的知識・技術を習得する

〈方法〉① 基礎コース 日時：平成31年7～8月の2日間 定員：50～70名

会場：千葉市内（予定）

② 応用コース 日時：平成31年10～12月の3日間 定員：50～70名

会場：千葉市内（予定）

※今まで八千代リハビリテーション学院で行っていたが、参加者拡大をもくろみ千葉市内での開催を検討したい

2. 認知症リハビリテーションビデオの作成

〈対象〉作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・他職種・一般の方

〈目的〉① 認知症の検査・評価からカンファ・リハビリテーション・地域活動の流れを示した映像集の作成

② 作成した①を、各研修会や広報活動で使用し、認知症リハビリの啓蒙活動を行う  
〈方法〉撮影および広報活動に利用することへの了承を頂きつつ、対象場所での撮影を実施。編集後、映像集として今後のフォローアップ研修会や地域での広報活動を実施する

### 3. 認知症フォローアップ研修の開催と人材登録

〈対象〉認知症リハビリテーション研修（応用コース）を修了したリハビリテーション専門職

〈目的〉① 地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できる作業療法士を確保するために、認知症に関する最新かつ最低限の知識を修得させる

② 認知症のリハビリテーションリーダーとして実際に活動できる人材を発掘・育成する

③ 各地域において活動できる顔の見える関係づくりを促進する

〈予定〉1回開催を予定

## 事業部 福祉用具対策委員会

1. 県士会員及び県士会における福祉用具機器に関するニーズ調査
2. ニーズ調査結果をもとに県士会員向けに福祉用具相談窓口を設置する
3. 協会・他団体との連携
4. HCR 参画の検討

\*上記に対する会議の開催 4～5回。委員数 7名

## 事業部 災害対策委員会

1. 県士会内における災害対策に活用できるネットワーク体制の構築と運用
2. 県士会内における災害支援活動基本指針およびマニュアルの作成
3. 災害リハに関わる人材育成を目的とした研修会の開催
4. 災害に関する他団体との連携・協働

## 事業部 企画委員会

1. 作業療法に関する啓発活動
  - ①企画会議 5回
  - ②市民公開講座等 1回
2. 学生に対する県士会の紹介
  - ①企画会議 5回
  - ②作業療法学生対象の県士会に関する啓もうを目的とした企画を実施 1回

## 事業部 地域連携推進委員会

1. 研修事業
  - ・地域連携推進研修会の開催：**STEP0 研修**
    - 〈対象〉地域支援・地域リハビリに関心・興味がある千葉県内の OT、ケアマネ等
    - 〈目的〉地域連携・多職種連携に関わる OT の知識拡大
    - 〈実施回数〉年 1 回、6 月に実施予定
    - 〈参加費〉1,000 円（OT のみ） 〈参加目標人数〉20 名程度
    - 〈収入見込〉20,000 円
    - 〈経費〉交通費・会議費：25,000 円

・地域リハビリテーション人材育成研修会の開催：STEP1 研修

〈対象〉 地域支援・地域リハビリに関心・興味がある千葉県内の OT

〈目的〉 (1) 地域ケア会議・総合事業に資する人材育成研修による県内 OT の質の担保

(2) 介護予防事業・総合事業に資する人材育成研修による県内 OT の質の担保

(3) 千葉 POS 人材バンク活用のため OT 士会の仕組み作り

〈実施回数〉 地域ケア会議・介護予防・総合事業などを含めた研修会内容により実施予定

〈参加費〉 1,000 円 〈参加目標人数〉 30 名程度

〈収入見込〉 30,000 円

〈経費〉 交通費・会議費：25,000 円、講師費：50,000 円

・地域リハビリテーション人材育成研修会の開催：STEP3 研修

〈対象〉 地域支援・地域作業療法に関心・興味がある千葉県内の OT

〈目的〉 (1) 地域における作業療法士の専門性等（人間作業モデル）の理解を深める

(2) 社会的背景を把握しながら時流に合わせた研修

〈実施回数〉 2 回：8 月、1 月

〈参加費〉 1,000 円 〈参加目標人数〉 各 10 名程度

〈収入見込〉 20,000 円

〈経費〉 交通費・会議費：各 25,000 円、講師費：各 50,000 円

2. ネットワークの構築と推進

〈対象〉 千葉県 OT 士会員

〈目的〉 (1) OT ネットワークを構築し、スムーズでダイレクトな情報発信を可能とすること

(2) 千葉県 OT 士会員が欲している情報の配信を速やかに行うこと

(3) 災害時の安否確認システムなど、他委員会活動を結びつけ配信すること

(4) 現在 150 名程度の登録であるが、平成 31 年度 300 名を目標とする

〈方法〉 千葉県 OT 士会 SNS を利用し、ネットワークの構築 (M@mail)

〈支出〉 M@mail 継続契約金 47,000 円

3. 各市町村で活動・活躍している OT の情報を収集し委員を増員

〈対象〉 各市町村で活動・活躍している OT と、その情報に関心を持っている千葉県 OT 士会員

〈目的〉 (1) 千葉県 OT 士会員が欲している情報を収集と発信

(2) 作業療法士が地域で活躍できる内容を模索し、形にする

〈方法〉 ① 県内各地での研修会を開催しアンケート等を用いた情報収集

② 県士会ニュースでの呼びかけ

③ 収集した情報の蓄積と、質問・相談が来た時に対応できるようにしておく

4. 地域支援における作業療法士の紹介事業

〈対象〉 県士会に入会しており、一定の条件を満たす OT

〈目的〉 (1) 高齢者分野において地域にて作業療法を必要としている団体等へ支援を実施

(2) 作業療法を地域への啓発活動も含み実施

(3) 一定の条件を満たし、安定した知識・技術によって地域に貢献

〈方法〉① マメールを活用した自主申告した OT

② 各団体から依頼を受け近隣の会員を紹介し、その後は当事者同士により契約等を締結

#### 5. その他経費

〈会 議〉：6 回/年：1 回当たり 25,000 円

〈印刷費〉：3 回/年：80,000 円

〈負担金〉：1 回/年：100,000 円（3 団体合同：生活期リハ実務者研修への負担金）

### 保険部

1. メールでの質疑応答を継続していく
2. 県士会ニュースでの保険情報を総合支援法・介護保険・医療保険に分けて情報伝達を行っていく（年4回予定）
3. ホームページ上にて Q&A 方式にて掲示していく
4. Face Book での情報配信開始する

※部員人数：15 名

### 調査部

1. 各部局と協力し調査活動を実施
2. 県士会員ニーズの把握
3. 調査結果を県士会ニュース等で報告

### 福利厚生部

1. 新人&会員オリエンテーション  
今年度と同様、新人・既卒が参加できる形で実施  
理事による県士会の紹介と講演
2. もやっと会（講演会・施設見学コーディネート）
3. 託児事業  
教育部、学術部、県学会を対象に実施
4. アドバイザー事業
5. 求人・求職
6. 倫理相談窓口の設置

※部員人数：6 名

### ブロック活動部 ブロック活動

1. 各ブロックリーダー育成研修会の実施
2. 各ブロック長会議の開催（年1回）
3. 県士会ニュースへの掲載や HP 活用し、各ブロックの広報活動

### ブロック活動部 東葛北部ブロック

1. 全体会議：5～6 回開催予定
2. 研修会：1 回開催予定（他分野に共通する内容・講師未定）
3. ブロック交流会：1 回開催予定

4. 調査活動：県士会にあるデータベースを基に、東葛北部地域に従事している人材の把握、データ蓄積
5. 広報活動：マメールの周知、県士会 HP、Facebook などを活用した広報活動

#### ブロック活動部 東葛南部ブロック

1. 全体会議：6～12 回開催予定
2. 研修会（身障領域）1 回開催予定。詳細は未定  
（身障以外）1～2 回開催予定。詳細は未定。
3. ブロック委員増員の検討
4. ブロック運営マニュアルの作成・運用
5. ブロック会員へのアンケートの実施

#### ブロック活動部 千葉中央ブロック

1. 全体会議：12 回開催予定
2. 研修会：千葉中央ブロック領域の PT、(ST) と共同で行う研修会を検討。詳細は未定。
3. 学会準備
4. 千葉市健康づくり大会（参加者見込：80 名程度） 日時未定（H31 年 10 月予定）
5. ブロック運営のマニュアルの作成

#### ブロック活動部 東総ブロック

1. 全体会議：2 回開催予定
2. 研修会：2 回開催予定。詳細は未定
3. 地域住民への広報活動

#### ブロック活動部 南総ブロック

1. 全体会議：4～6 回開催予定
2. 研修会：1 回開催予定。詳細は未定
3. 地域活動への参加（木更津市生涯学習フェスティバル、木更津福祉まつりなど）
4. 調査活動：南総地域に従事している OT や南総地域 OT が活動参加している団体の調査

#### 生活行為向上マネジメント特設委員会

1. 県士会員や県民への普及・啓蒙活動
2. 勉強会や研修会への講師派遣，準備や開催
3. 協会・他都道府県士会，他職能団体との連携
4. 研修会への委員派遣
5. 県士会ニュースへの掲載やHP 活用し，生活行為向上マネジメントの広報活動

#### 運転特設委員会

1. 設置期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日（3 年間）
2. 活動計画：
  - ①H30 年度のアンケート結果を活かし、運転支援につなぐための具体的方法を立案、実行
  - ②千葉県内の各関係機関との連携の強化
  - ③千葉県指定教習所協会や免許センターとの合同勉強会の開催

3. 目標：①県内の運転支援（評価）状況を把握
- ②県内で統一した支援（評価）ができるような仕組みを作る
- ③関係機関である千葉県警察（公安委員会）や千葉県指定自動車教習所協会と協議し、運転支援（評価）に必要な連携
- ④運転支援に関する知識・技術の向上のため、勉強会や研修会の開催や講師派遣等

## 学会委員会

1. 平成 31 年度第 21 回千葉県作業療法士学会の開催
  - ・開 催 日：平成 32 年 3 月 8 日（日） 9 時～16 時
  - ・開 催 地：中央ブロック
  - ・学 会 長：検討中
  - ・実行委員長：検討中
  - ・会 場：検討中
  - ・学会テーマ：未定
  - ・学 会 内 容：特別講演・教育講演・一般公開講座・演題発表など
2. 学会参加率の向上を図るため、より充実した内容及び対象を明確化する。
3. 公開講座の実施により県民・市民へ作業療法の周知を図る。
4. 会員に向けた千葉県士会活動広報の場としての充実を図る。

## 選挙管理委員会

1. 代議員の任期満了に伴い、平成 31 年 12 月に代議員選挙を実施予定

※平成 31 年度に行われます定時総会・予算総会の資料につきましては、送付は行わず、千葉県作業療法士会ホームページ上で掲示致します